

日仏翻訳学夏期セミナー

フランス翻訳学会(SoFT)

www.societe-francaise-traductologie.com

2016年8月29日 - 9月2日

- 会場 -

〒75013 パリ、フランス大通り(avenue de France) 190
レゾ・アジ(Réseau Asie)、ルフランス館(Bâtiment Le France)
A サイド、6 階、638-641 室
(最寄駅：地下鉄 Quai de la gare 駅)

- ご登録、お問い合わせは下記まで -

soft.univ.paris10@gmail.com

- 登録期間 -

2016年4月4日(月) - 7月15日(金)

登録料：300ユーロ(5日間)

- 代表者 -

ジュリー・ブロック (京都工芸繊維大学教授、フランス翻訳学会(SoFT)企画委員)
フロランス・ロテル＝リプシュタイン (アルトワ大学准教授、フランス翻訳学会(SoFT)代表)

概要

フランス翻訳学会(SoFT)は今夏、パリにて世界初の日仏翻訳学夏期セミナーを開催する。

現代の翻訳者はゼロから翻訳を行うのではなく、翻訳史や、言語学・哲学・記号学にもとづく一貫した理論を意識せざるを得ない。本セミナーは、今後いっそう進展すべき翻訳学（トランスレーション・スタディーズ）について、実践的、理論的アプローチを行うものである。

今回は日本語からフランス語への翻訳では、和歌や俳句などの文学作品から漫画まで、多岐にわたるジャンルの翻訳に関わる。フランス語から日本語への翻訳では、ロンサールやラブレー、スタンダール、アラゴンなど多様な作家やその文体に焦点をあてる。

5日間の日程それぞれに以下のテーマを当て、各日とも午前中は講義（45分×4コマ）、午後はワークショップ（90分×2コマ）を行う。参加者は午前中に学んだ理論を用いつつ、午後実際に翻訳作業を体験できるよう工夫されている。

①翻訳の歴史 ②翻訳の理論と方法論 ③日本古典文学の翻訳 ④文体の翻訳 ⑤文学ジャンルの翻訳

2つの英語講義を除いて、開講される20の講義はフランス語で行われ、内容としては日本語から／日本語への翻訳をバランスよく扱う。日本人・フランス人ほぼ同数から成る20名の講師は、哲学者、文学者などに加えて、著名な翻訳者・翻訳学者である。2名の講師以外はみな日本語・フランス語双方を操り、講義およびワークショップは日本人・フランス人の受講者を等しく対象とするものである。

「人間学会館」(Fondation Maison des Sciences de l'homme)の6階に位置する会場は、フランソワ・ミッテラン図書館(BNF)も近い雰囲気の良い地区にあり、参加者はセミナーの期間、心地よく落ち着いて学ぶことができる。また、参加者・講師を問わず食事を共にする機会なども設けており、講義やワークショップ以外の時間も議論を深めることができる。本セミナーは翻訳および翻訳学に関わる интенシヴ・コースであると同時に、日仏両国の友好的な交流の場を与えるものである。

プログラム

午前の部：講義

| 8月29日(月) | 8月30日(火) | 8月31日(水) | 9月1日(木) | 9月2日(金) |
|-----------------------------------|----------------------------------|--|---|--------------------------------|
| 翻訳の歴史 | 翻訳の理論と方法論 | 日本古典文学の翻訳 | 文体の翻訳 | 文学ジャンルの翻訳 |
| 9h-9h45 | 9h-9h45 | 9h-9h45 | 9h-9h45 | 9h-9h45 |
| 上原 麻有子 西洋人称代名詞の日本 哲学における受容 | ジャン＝ルネ・ラドミラル 翻訳学的言説の階層 | ミシェル・ヴィエイヤール＝パロン 紡がれた錦文様 —和歌における形式、 主題、言語、レトリック | 鷺見洋一 和訳における「カセット 効果」をいかに乗り越 えるか？ | 伊藤玄吾 フランスルネサンス期の テキストの和訳 |
| 9h45-10h30 | 9h45-10h30 | 9h45-10h30 | 9h45-10h30 | 9h45-10h30 |
| 吉川順子 19世紀フランスにおける 日本古典詩の翻訳史 | フロランス・ロテル＝リプシュタイン ゲシュタルトから翻訳へ | 寺田澄江 古典テキストの不透明 性に直面して | ジュリー・ブロック 詩性をいかに翻訳するか —メシヨニックの 「リズム」を通して | エマニュエル・ロズラン 随筆の翻訳 |
| 10h30-10h45 : 休憩 | 10h30-10h45 : 休憩 | 10h30-10h45 : 休憩 | 10h30-10h45 : 休憩 | 10h30-10h45 : 休憩 |

| | | | | |
|------------------------------------|------------------------------------|--|----------------------------------|-------------------------------|
| 10h45-11h30 | 10h45-11h30 | 10h45-11h30 | 10h45-11h30 | 10h45-11h30 |
| 金子美都子 俳句のフランス語訳 の歴史 | オーギュスタン・ベルク 翻訳から「通態性」へ | マリア・キアラ・ミリオレ 『万葉集』の イタリア語訳の戦略 | パトリック・オノレ 内田百閒における ユーモアの翻訳 | ミヤコ・スロコンブ 漫画の翻訳 |
| | | | | |
| 11h30-12h15 | 11h30-12h15 | 11h30-12h15 | 11h30-12h15 | 11h30-12h15 |
| 西澤一光 解釈学の視点から見た 本居宣長の『古事記』読解 | フレデリック・ジラル 道元のテキストに関わる 翻訳の問題 | アントニオ・マニエーリ 色と翻訳 —『万葉集』の翻訳に関する 覚書 | 杉本 圭子 スタンダール『恋愛論』 の文体の翻訳 | 大嶋厚 歴史書の翻訳 —誰のために、何のために |
| | | | | |
| 12h15-14h : 昼食 | 12h15-14h : 昼食 | 12h15-14h : 昼食 | 12h15-14h : 昼食 | 12h15-14h : 昼食 |

午後の部：ワークショップ

| 8月29日(月) | 8月30日(火) | 8月31日(水) | 9月1日(木) | 9月2日(金) |
|--|---|---|---|--|
| 翻訳の歴史 | 翻訳の理論と方法論 | 日本古典文学の翻訳 | 文体の翻訳 | 文学ジャンルの翻訳 |
| | | | | |
| 14h-15h30 | 14h-15h30 | 14h-15h30 | 14h-15h30 | 14h-15h30 |
| <p>638室</p> <p>上原 麻有子 一人称を日本語でいかに翻訳するか？</p> | <p>638室</p> <p>ジャン＝ルネ・ラドミラル アシスタント：鈴木和彦 『翻訳のための定理』 の和訳</p> | <p>638室</p> <p>ミシェル・ヴィエイヤール＝パロン 和歌の問題 —技術と翻訳</p> | <p>638室</p> <p>鷺見洋一 話法の視点をいかに定めるか？</p> | <p>638室</p> <p>伊藤玄吾 ロンサールを翻訳する</p> |
| <p>または 640-641室</p> <p>吉川順子 日本古典詩を翻訳する</p> | <p>または 640-641室</p> <p>フロランス・ロテル＝リプシュタイン アシスタント：横田悠矢 「意味論的形式」を用いた アラゴンの翻訳</p> | <p>または 640-641室</p> <p>寺田澄江 『枕草子』の二つの フランス語訳の比較 —翻訳か翻案か</p> | <p>または 640-641室</p> <p>ジュリー・ブロック 詩における「出来事」 を翻訳する</p> | <p>または 640-641室</p> <p>エマニュエル・ロズラン 「調子」を翻訳する</p> |

| | | | | |
|---|---|---|--|--|
| 15h30-17h | 15h30-17h | 15h30-17h | 15h30-17h | 15h30-17h |
| 638 室 金子美都子 俳句を翻訳するとは？ | 638 室 オーギュスタン・ベルク 和辻哲朗による 「人間存在の構造契機」 の西洋諸言語への翻訳 | 638 室 マリア・キアラ・ミリオレ 日本古典文学の翻訳 の戦略 | 638 室 パトリック・オノレ 綿矢りさにおける ユーモアを翻訳する | 638 室 ミヤコ・スロコンブ 漫画を翻訳する |
| または 640-641 室 西澤一光 古事記の書法の背後に ある思考体系は翻訳 できるのか？ | または 640-641 室 フレデリック・ジラルール 古典文学における仏教 テキストの翻訳問題 | または 640-641 室 アントニオ・マニエーリ 古典文学における 色を翻訳する | または 640-641 室 杉本 圭子 スタンダール『恋愛論』 における恋愛の表現を 翻訳する | または 640-641 室 大嶋厚 歴史書を翻訳する ために |
| 17h-17h30 : 休憩 | 17h-17h30 : 休憩 | 17h-17h30 : 休憩 | 17h-17h30 : 休憩 | 17h-17h30 : 休憩 |
| 17h30-18h15 議論 | 17h30-18h15 議論 | 17h30-18h15 議論 | 17h30-18h15 議論 | 17h30-18h15 議論 |
| 19h30 : 夕食(自由参加) | 19h30 : 夕食(自由参加) | 19h30 : 夕食(自由参加) | 20h : 懇親会 | 18h30 : アペリティフ |

講師

- 伊藤玄吾（同志社大学 准教授）
上原麻有子（京都大学 教授）
ミシェル・ヴィエイヤール＝バロン（フランス国立東洋言語文化大学 教授）
大嶋厚（国際交流基金 企画部事業戦略課 専門役 / 翻訳家）
パトリック・オノレ（翻訳家）
金子美都子（聖心女子大学 名誉教授）
フレデリック・ジラルール（フランス極東学院 教授）
杉本圭子（明治学院大学 教授）
鈴木和彦（パリ第10大学 博士後期課程）本セミナーアシスタント
鷺見洋一（慶應義塾大学 名誉教授）
ミヤコ・スロコンブ（翻訳家 / 通訳者）
寺田澄江（フランス国立東洋言語文化大学 教授）
西澤一光（新潟経営大学 准教授）
ジュリー・ブロック（京都工芸繊維大学 教授）
オーギュスタン・ベルク（社会科学高等研究院 名誉教授）
アントニオ・マニエーリ（ナポリ東洋大学 研究員）
マリア＝キアラ・ミリオーレ（サレント大学 准教授）
ジャン＝ルネ・ラドミラル（パリ第10大学 名誉教授）
エマニュエル・ロズラン（フランス国立東洋言語文化大学 教授）
フロランス・ロテル＝リップシュタイン（アルトワ大学 准教授）
横田悠矢（パリ第7大学 博士後期課程）本セミナーアシスタント
吉川順子（京都工芸繊維大学 准教授）

